

雨の中を実地検証

新日窒 荒れたままの工場

一日漁民騒動の荒れるにまかせた新日窒水俣工場では、三日午前九時すぎから雨の中を県警本部鑑識課坂本次席、河島水俣署刑事課長、山田熊地検八代支部長ら約三十人が工場内諸施設の実地検証を行な

った。検証があるというので工場内は跡かたづけもせず、荒された本事務所など数カ所の建物や工場正門内広場、同施設などはきのうの乱闘の場そのまま、カワフヤガラスの破片などが無数に散らばっ

ていた。

案内に入ると二台のテレビタイプ（一台五百万円）をはじめタイプライター四、五台がひんまがって床に落ち、かけつけた職員たちもぼろげんとしていた。

いっぽう衆議院水俣病調査団一行十七人は猪倉の湯之尻温泉から水俣川河口と首間港の新日窒水俣工場排水溝を視察したあと同工場側から排液処理の方法などを聞いた。一行はこの日水俣市で解散それぞれ上京した。